

12/13
誌



日印原子力協定に反対する市民らの集会＝12日、官邸前

日印原子力協定に反対

官邸前で抗議集会

安倍晋三首相がインドを訪問し、モディ首相と会談した12日、日印原子力協定締結と武器輸出に反対して市民らが官邸前で抗議集会を開きました。国際環境NGOのFoE Japanなどが呼びか

けたもので、約150人が参加しました。日印原子力協定が締結されれば日本企業のインドへの原発輸出が可能となります。核兵器保有国であり核不拡散条約(NPT)に加盟していないインドへ

の原子力技術の輸出は、軍事転用の危険があります。また、原発に反対する人々への抑圧などの問題が指摘されています。FoE Japanの満田夏花理事は、「インドへの原発輸出

は核不拡散の体制を壊すことになり、軍拡競争に肩入れすることになる。また、原発に反対する市民の運動への弾圧が激しく、死者も出ています。輸出はそれに加担することにながります」と指摘しました。

集会では、原発に反対するインドの市民活動家も、インターネットを通じてメッセージを寄せました。クマー

ル・スンタラム氏は「インドでもたまたまいち「武器を売るな」が続いていく」と述べました。参加者は「原発

売るな。インドに売るな」「武器を売るな」などとコールしました。